

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年11月29日

計画の名称	関市における循環のみちの実現											
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	関市											
計画の目標	下水道施設の長寿命化対策に係る計画に基づき計画的な改築を行うとともに、処理場の効率的施設整備を図る。											
全体事業費 (百万円)	合計 (A + B + C + D)	1,802	A	1,802	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	下水処理場 (関市浄化センター) の汚泥処理設備における長寿命化対策 (第1期) 実施率を0%(H26)から100%(H30)に増加させる。 下水処理場 (関市浄化センター) の汚泥処理設備における長寿命化対策 (第1期) 実施率 長寿命化対策施設数 (設備) / 長寿命化対策すべき施設数 (設備)	0%	67%	100%
2	関処理区の管路施設 (汚水) の長寿命化対策 (第1期) 実施率を0%(H26)から100%(H30)に増加させる。 関処理区の管路施設 (汚水) の長寿命化対策 (第1期) 実施率 長寿命化対策済み管路延長 (km) / 長寿命化対策をすべき管路の延長 (km)	0%	53%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

関市基盤整備部下水道課にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和元年11月

公表の方法

関市公式ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・下水処理場の汚泥処理設備について改築を実施することで、施設の長寿命化ができた。
- ・管渠施設の更生を実施することで、施設の長寿命化ができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

新たに策定した令和元年からの整備計画における事業を進め、水質保全に努める。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水処理場（関市浄化センター）の汚泥処理設備における長寿命化対策（第1期）実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	関処理区の管路施設（汚水）の長寿命化対策（第1期）実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%